

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【公表番号】特表 2019-532850 (P2019-532850A)

【公表日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-046

【出願番号】特願 2019-523102 (P2019-523102)

【国際特許分類】

B 2 9 C 65/02 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 65/02

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 23 日 (2020.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

前記ポリオレフィンプラスチック材料、特にポリプロピレンプラスチック材料はさらなる成分、例えば、天然またはガラス繊維などのフィラー、顔料、染料、レオロジー助剤、離型助剤または安定剤などを含むことができる。前記ポリオレフィンプラスチック材料、特にポリエチレンプラスチック材料および / またはポリプロピレンプラスチック材料、好ましくはポリプロピレンプラスチック材料は、特定のポリオレフィンポリマー、特に特定のポリエチレンポリマーおよび / またはポリプロピレンポリマー、好ましくはポリプロピレンポリマーから特に好ましくは構成され、それぞれの場合ポリオレフィンプラスチック材料（フィラーを含まない全ポリオレフィンプラスチック材料）のポリマー割合に基づいて、好ましくは 80 重量％超、特に 90 重量％超、好ましくは 98 重量％超の量で構成される。前記ポリオレフィンプラスチック材料、好ましくはポリプロピレンプラスチック材料は、特定のポリオレフィンポリマー、特にポリプロピレンから好ましくは構成され、それぞれの場合全ポリオレフィンプラスチック材料（フィラーを含む）に基づいて、好ましくは 50 重量％超、特に 70 重量％超、好ましくは 90 重量％超、より好ましくは 95 重量％超、特に好ましくは 98 重量％超の量で構成される。さらに好ましいポリオレフィンプラスチック材料、特にポリエチレンおよび / またはポリプロピレンプラスチック材料、好ましくはポリプロピレンプラスチック材料は、特定のポリオレフィンポリマー、特に特定のポリエチレンおよび / またはポリプロピレンポリマー、好ましくはポリプロピレンポリマーから構成され、それぞれの場合全ポリオレフィンプラスチック材料（フィラーを含む）に基づいて、10～80 重量％、特に 30～50 重量％の量で構成される。これは、天然繊維で充填されているポリオレフィンプラスチック材料にとって特に好ましい。好ましいポリオレフィンプラスチック材料、特にポリエチレンおよび / またはポリプロピレンプラスチック材料、好ましくはポリプロピレンプラスチック材料は、全ポリオレフィンプラスチック材料（フィラーを含む）に基づいて、20～80 重量％、特に 50～70 重量％の繊維、特に天然繊維を含有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 0 】

ポリエステルアルコール成分は、好ましくは、主成分として、2～10個の炭素原子を有する少なくとも1つの脂肪族または脂環式グリコールを含む。ポリエステルは、2～10個の炭素原子を有する脂肪族又は脂環式グリコールとして、3-ヒドロキシ-2,2-ジメチルプロピル-3-ヒドロキシ-2,2-ジメチルプロパノエート(HPHP)、エチレングリコール、ジエチレングリコール、ネオペンチルグリコール、シクロヘキサジメタノール、1,3-プロパンジオール、1,4-ブタンジオールおよび2-メチル-1,3-プロパンジオールからなる群から選択される少なくとも1つのアルコールを好ましくは含む。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 6 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 6 4 】

プライマー中のさらなるポリマーの含有量は、それぞれの場合プライマーの全重量に基づいて、好ましくは1～40重量%、特に5～30重量%、特に好ましくは10～20重量%である。プライマーのポリマー含有量中のさらなるポリマーの含有量は、それぞれの場合にプライマー(溶剤およびフィラーを含まないプライマー)の全ポリマー割合に基づいて、好ましくは5～75重量%、特に30～70重量%、特に好ましくは40～65重量%である。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 1 0 4 】

コポリエステル1:モノマーとして、イソフタル酸、テレフタル酸、HPHPグリコール、ネオペンチルグリコールおよびエチレングリコールを含有する分子量15,000g/molの非晶質コポリエステル。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 1 0 5 】

コポリエステル2:モノマーとして、イソフタル酸、テレフタル酸、アジピン酸およびブタンジオールを含有する分子量18,000g/molおよび138の最大溶融ピークを有する半結晶性コポリエステル。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 1 0 6 】

コポリエステル3:モノマーとして、イソフタル酸、テレフタル酸およびブタンジオールを含有する20,000g/molの分子量および179の最大溶融ピークを有する半結晶性コポリエステル。